

令和 6 年度 第 4 回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2025 年 2 月 5 日（水） 15 時 00 分から 16 時 30 分
2. 開催場所 天竜中学校 2 階被服室
3. 出席委員 米山英二、齋藤 誠、鈴木滋芳、鈴木景子、中村まゆみ、伊藤武司
（敬称略） 高橋靖博、伊藤太一（CS コーディネーター）
4. 欠席委員 匂坂典男
5. 学 校 野秋愛美（校長）、山城百孝（教頭）、鈴木美音子（主幹教諭）
長谷川翔（生徒指導主事）、佐野正巳（校務アシスタント/CS ディレクター）
6. オブザーバー 西澤幸次郎（天竜協働センター長）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CS ディレクター 佐野正巳
9. 議長の選出
司会（山城教頭）より議長希望者を委員各位に募るも立候補はなかったが、米山委員から鈴木滋芳さん推薦の提案があり全委員了承でお願いすることとした。
10. 協議事項 (1) 学校関係者評価について 鈴木美音子主幹教諭
(2) 学校運営協議会の自己評価について 山城教頭
(3) 来年度の学校運営構想について 野秋校長
11. 報告 (1) 桜並木の保全活動（桜の植樹） 山城教頭
(2) 校則の見直し状況 長谷川生徒指導主事
(3) 学校部活動の地域移行について 山城教頭
(4) 夢育やらまいか事業の報告 山城教頭
12. 連絡 (1) 教育委員会から 井嶋教育総務課指導主事
(2) 今後の予定
13. 会議記録
委員総数 9 人のうち 8 人の出席があり、過半数に達していることから会議は成立とした。

協議事項

(1) 学校関係者評価

○前年度と比べて生徒の評価、保護者の評価ともに大きな変化はない。生徒からは生活アンケートで「楽しく生活できている。」「安全で安心して生活できている。」に 95%と答えていて生徒の落ち着いた学校生活が送られている様子が伺える。一方学習アンケートで「家庭学習を毎日平均 1 時間以上している。」が昨年の 66%からさらに下がって 58%となっているのでこの点は大きな課題。保護者のアンケートで「学校はいじめのない集団（学校・学年・学級・部活等）づくりに取り組んでいる。」に昨年の 88%から 92%に評価が上がっていて保護者の学校に対する印象が良くなっている。今後の改善策としてタブレット端末を活用したドリル型の家庭学習を生徒に勧めていきたい。また生徒による自治的な活動を活性化させて集団におけるリーダーの育成に力を入れる。（鈴木美音子主幹教諭）

○いじめ問題についてはアンケートや聞き取り等を活用して、いじめの早期発見に努め、問題がでた場合は「いじめ委員会」の組織を生かして迅速な対応を心掛けたい。（長谷川生徒指導主事）

- ・生徒の評価、保護者の評価、共に昨年と比べて大きな変化はなく良かったと思うが、家庭学習についての点数が低いのが気になる。（齋藤委員）
- ・「元気に誰にでもあいさつできる。」で昨年に対して 88%から 85%に下がっているが、朝の交通安全運動の立ち合い時は挨拶ができていても、私服で会ったときは挨拶がない。（米山委員）
- ・当家ではスマホはリビングだけでの使用としているが、長時間にわたって使っているのが心配だ。（高橋委員）
- ・休暇中の宿題はないとのことだったので学習支援の時に指導するのに戸惑った。（鈴木景委員）

（２） 学校運営協議会の自己評価について

評価項目 1 **学校運営の基本方針について熟議することができたか。**

- ・校長先生より丁寧な説明があり、委員からも活発な意見もあって委員全員で基本方針について共有することができた。（中村委員）
- ・学校運営の基本方針にそって学校経営は丁寧に運営されておりこの状況を継続してほしい。生徒と先生の信頼関係も構築できていると思っている。（齋藤委員）
- ・「多様性を認め合い、志をもって、主体的に生きる生徒の育成」という基本方針の説明を受け、よく熟議できた。（米山委員）
- ・学校運営の基本方針について他人と比べて評価するのではなく、一人一人の良さを認め合い、輝かせるということを委員全員で確認した。（鈴木滋委員）

評価項目 2 **承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援などについて熟議を進めることはできたか。**

- ・篠ヶ瀬町のまつりボランティア募集では多くの生徒から応募があり、何とか受け入れができたことが印象に残っている。（高橋委員）
- ・休日の学校部活動の地域移行については部活ごとの課題、活動方法、活動場所、指導者の確保等、移行についての議論ができた。また校区の住民に対して指導に参加可能な人材調査をおこない、応募者への説明会を開くことができた。今後ワーキンググループを立ち上げ移行の具体化を進める。いじめ対応についてはいじめアンケートを通していじめ見逃しゼロ、いじめを重大化させない取り組みについて理解できた。職場訪問のサポートについては新たな訪問先を増やすために学校側と地域自治会の役割分担を見直し、前年度実績のある事業所は学校担当、受け入れ先の開拓は自治会とし、新たな受け入れ先や職種を増やすことができた。（伊藤太委員）
- ・部活動の地域移行については指導者等の課題はあると思うが、教育活動の充実をはかる点で支援ができているように感じる。（伊藤武委員）
- ・学校方針のそれぞれのポイントに対して支援活動ができたと思う。（米山委員）
- ・職場体験や地域ボランティアで委員それぞれの立場で意見交換ができ、こうした取り組みの継続は生徒の成長に寄与すると思う。学校、家庭、地域の役割分担の中でさらに連携を深め各種課題に取り組んでいくことが重要だと思った。（齋藤委員）
- ・職場体験やボランティア活動に関しては学校支援活動としてある程度協力でき、成果も見られたと思う。校則の見直しについては生徒会の実態調査がしっかりできており感心することが多かった。いじめについては地域ができることと学校との連携について具体策の熟議ができるとよいと思った。（鈴木景委員）

- ・校則の見直しでは生徒会役員を中心に全校生徒にアンケートを実施したりして、生徒たちの力でより良い校則にしたいとの姿勢がよくわかり感心した。（中村委員）
- ・生徒会主導で校則改正プロジェクトを立ち上げ、自分たちのことは自分たちで考え、そのことに責任を持たせることで、学校は自分たちの生活・学びの拠点であることを改めて認識できたのではと思う。ボランティア活動の支援や職場体験の事業所紹介なども学校と地域でうまく連携が取れたと思う。休日の部活動の地域移行では地域移行事務局（仮称）の要員や指導者の人材探しで、できるところから協力している。（鈴木滋委員）

評価項目3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・熟議の内容は議事録として学校 HP に掲載し保護者や地域に公開している。PTA 機関誌『竜想』や学校だよりなどでも活動内容を掲載した。また自治会組織を通じて地域へも報告している。（中村委員）
- ・自治会連合会定例会議の場において学校運営協議会で熟議した内容について報告した。特に今年度の学校経営書については自治会長全員に天竜中学校のグランドデザイン（学校教育目標や目指す生徒像など）を説明した。（齋藤委員）
- ・学校においてはホームページへの掲載、自治会においては各町への学校広報誌『竜想』、学校だより『天中通信』を回覧することにより、協議会での会議録や学校の活動内容を逐次報告している。（鈴木滋委員）
- ・部活動の地域移行に関する経過や今後の進め方等についてまとめ、自治会や地域関係者に報告した。また地域の各種イベントへの生徒ボランティアの参加要望書や生徒の職場体験を受け入れてくれる会社や団体、商店等への協力要請書を自治会に対して案内した。（伊藤太委員）
- ・学校運営協議会には PTA 役員の代表として参加させていただいているが、もっと保護者に向けた情報発信が効率的にできたらいいなと思っている。（高橋委員）
- ・生徒会主催の活動を聞いて生徒の自治能力に感心した。（西澤委員）

評価項目4 今年度の取り組みの評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・①基本的には 2024 年度の目標を継続する。②部活動の地域移行についてより具体的な移行方法やその他の課題解決を進める。③学校教育目標「多様性を認め合い、志を持って主体的に生きる生徒の育成」やいじめ問題について地域としてさらに応援できる内容の検討（伊藤太委員）
- ・基本的には前年度からの継続性を重視したい。①休日の学校部活動の地域移行②いじめ問題③桜並木の保全活動④生徒の地域ボランティア活動のサポート（鈴木滋委員）

(3) 来年度の学校経営構想について

○次年度は校長職も交代となるので次年度校長で考えをまとめて欲しいが、私としてこうして欲しいと思う点を職員に対して次のように伝えている。（野秋校長）

①OODA ループを駆使して

OBSERVE(観察)→ORIENT(状況判断)

↑

↓

ACT(行動・実行)←DECIDE(意思決定)

②組織力の向上を目指して 天中の組織は年代にわけると二極化、3、40代が少ない。

③「対話」を大切に 対立ではなく対話

④天竜中生徒の実態（先生方の学校評価アンケートから）＜詳細は資料参照＞

令和 7 年度 特に力を入れた点 ＜詳細は資料参照＞

1. 授業力の向上
2. 不登校対策
3. 丁寧ないじめ対応
4. 教職員のウェルビーイング
5. 全教職員による発達支援学級生徒への関わり
6. SC・SSW、関連機関との連携
7. コミュニティスクールによる特色ある学校づくりの推進
8. 部活動の在り方についての検討

報告事項

（１）桜並木の保全活動（桜の植樹）

○昨年同様、今年度末に桜の植樹を計画している。3 月 10 日（月）に 3 年生の生徒代表と来賓の方々をお招きして実施する。今回 5 本の植樹を計画している。（山城教頭）

（２）校則の見直し状況

○靴、靴下の校則改訂を、試行期間を本年 1 月からの設けて令和 7 年度より改訂の運びとなっている。＜詳細は添付資料参照＞ （長谷川生徒指導主事）

（３）学校部活動の地域移行について

○1 月 29 日に令和 7 年度新入生向けの説明会を開催した折に、令和 8 年 9 月から実施予定の休日部活動の地域移行について説明した。地域移行後は「天竜中文化スポーツクラブ」が運営することになる。地域と連携して移行を進めたい。（山城教頭）

連絡

（１）教育委員会から

学校運営協議会の日頃の活動に感謝したい。昨年同様学校運営協議会の自己評価表の提出をお願いしたい。（井嶋教育総務課指導主事）

（２）今後の予定

次回の開催は 第 1 希望は令和 7 年 5 月 1 日（木）14：30～16：00

第 2 希望は令和 7 年 4 月 24 日（木）14：30～16：00 とする。

最終的には新任校長への確認を持って決定する。